

第8期介護保険事業計画に記載の内容				令和4年度(年度末実績)			
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価 結果	自己評価 内容	課題と対応策
自立支援・介護予防・重度化防止	高齢者の中には、退職や身体機能の低下等を理由に、自宅に引きこもりがちになる方がいる。閉じこもりの状態が続くと、身体機能の低下を招き、要介護状態になるリスクが高まる。高齢者となっても、地域で孤立することなく人とのつながりを持ち、地域活動に参加したり生きがいの持てる生活を送れるよう、高齢者の多様な社会参加を促進し、活動の場や加着の機械の提供に努める必要がある。	通いの場の充実	R4通いの場の拡充 計画箇所数(か所/年) (R2) (R3) (R4) (R5) 15 18 26 34 ・通いの場の活動を充実する取組を進める。 ※(R2)については実績数	通いの場の実施箇所数 R4.9月末:15か所(休止1か所除く) R5.3月末:18か所(休止1か所除く)	△	3か所の通いの場を新設・把握することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響による休止1か所にういて、再開・廃止どちらにも意向確認ができていない。大きな動きができず、数値目標は達成できなかった。	<課題> 感染症対策は継続した上での、通いの場の運営支援、立ち上げ支援が必要。また、休止となったグループへの意向確認が必要。  <対応策> 引き続き、感染症対策を実施した通いの場の運営支援、活動状況を把握した上での参加者に合わせた活動充実支援を継続する。また、アンケート調査等を参考に、通いの場の立ち上げ支援を実施する。休止となったグループ参加者に意向等の確認を実施する。
給付適正化	介護サービス利用者に対して、自立支援に資する適切なサービスが提供されるためには、介護支援専門員の質の向上が求められている。このため、町内外の事業所に対しケアプラン点検を実施する必要がある。	ケアマネジメントの充実	町外の居宅介護支援事業所のケアプラン点検数 計画箇所数 (R2) (R3) (R4) (R5) 1 1 2 3 ※(R2)については実績数	令和4年度のケアプラン点検は、対面形式で実施し、町内8事業所と町外1事業所に対して実施した。実施内容は、提出されたケアプランについて、主任介護支援専門員からの助言・指摘事項等について指導を行った。	△	町外事業所の点検実施数は1事業所のみとなりました。新型コロナウイルスの影響により、実施事業所数は増やさず前年度と同様としたため、数値目標は達成できなかった。	<課題> ケアプラン点検は、主任介護支援専門員の協力により実施しているが、点検者側が共通した理解のもと、適切に指導・助言等ができるかが課題である。  <対応策> 点検者側が適正に指導・助言できるよう、主任介護支援専門員への助言や情報共有等しながら連携して進めていく必要がある。